

令和6年度 墨田区立小学校長会

I 活動方針・重点事項等

本校長会は、区立小学校25校の校長で構成され、墨田区の教育課題の改善・向上及び会員相互の資質向上並びに親睦を図ることを目的として活動する。そのための事業を次の4点とする。

- 学校運営に関する連絡協議
- 教育に関する調査研究
- 会員相互の親睦・互助・連絡
- その他目的を達成するために必要な事項

II 活動・取組

1 学校運営に関する連絡協議の流れ

毎月初めに校長会役員による校長連絡会協議会を開催し、区幹事校長会での協議事項や区の教育施策に関する意見、検討課題、質問事項等を整理する。区幹事校長会での報告・課題・協議事項を整理し、地域別に4つに分かれたブロック校長会を開催し、地域の課題への対応や校長会全体の課題の解決に向けての協議、情報交換、相談等を行う。毎月末の校長連絡会では、ブロック校長会の協議等を踏まえ、区教委の教育課題に対する校長会方針や対応等を協議、決定する。

2 組織と具体的事業

(1) 学校経営部

人材育成を図るため、校長職候補者、教育管理職候補者、4級職、主任教諭等の選考に向けた研修会を中学校長会及び幼稚園長会と共同で企画・運営する。研修会の内容は全体会での教育長講話・指導室長講話、個別の論文指導・面接指導を行う。

(2) 施設部

通常の学級（第5学年、第6学年）の宿泊行事の実施に関する諸事務等について区教委と連携するとともに、特別支援学級（第3学年から第6学年）の宿泊行事の実施にあたり、必要に応じて特別支援学級設置校長会を支援する。移動教室の宿舎やバスの確保が困難になっている。今まで以上に区教委との連携を密にして、安全・安心な宿泊行事を行えるようにしている。

(3) 調査研究部

年2回の校長会研修会を開催し、教育課題についての校長の見識を深め、課題の改善向上を図る。令和6年度においては令和7年度関東甲信越地区小学校長研究協議会の分科会G「学校安全」の発表に向けて、各校の実践を基に安全・防災教育の工夫について校長の果たすべき役割と指導性について研究を進めている。その他にも、必要に応じて、教育課題に関する調査や事例研究を行い、課題の改善の資料としている。

3 校種間の連携

中学校区単位で10ブロックを結成してブロック内の幼保小中合同で授業公開及び研修会を行い、教育活動の相互理解と区の教育課題の体系的な改善向上策を協議している。